

毎年一回 家族健康診断を必ず受けましょう！

(健診費用：無料)

IBM健保組合が実施する19歳以上の家族健康診断は、国が定める40歳以上の**特定健診**（特定健康診査）の健診項目を含んでいます。

● 特定健診とは？

生活習慣病予防のために、対象者（40歳～74歳）の方にメタボリックシンドロームに着目した健診です。（通称：メタボ健診）

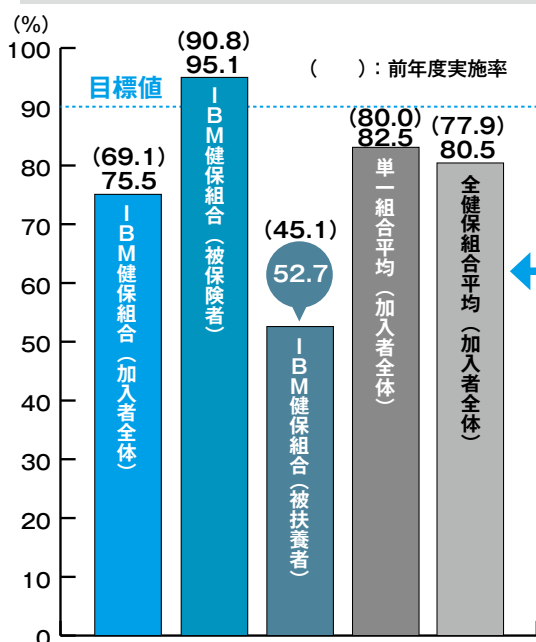
● 特定保健指導とは？

生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる方に対して、専門スタッフ（保健師、管理栄養士など）が生活習慣を見直すサポートをします。

● 健康スコアリングレポートでは、前年度と比較し「特定健診」「特定保健指導」の実施率が高くなっているが、被扶養者の実施率は被保険者と比較すると格段に低い

特定健診の実施状況

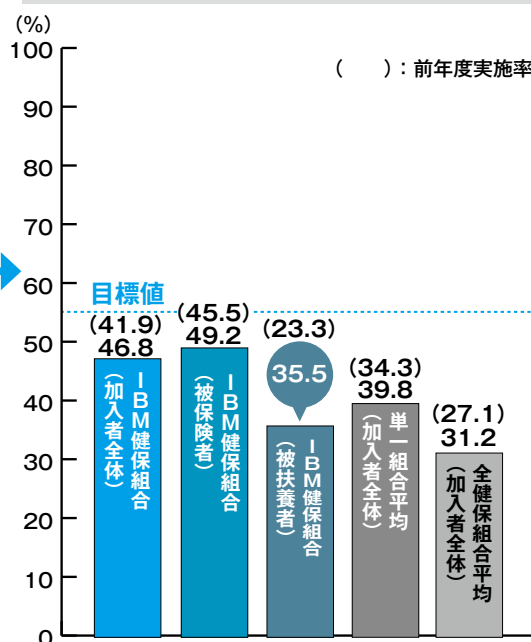
被保険者の受診率は目標を上回っていますが、家族健診（家族・任意継続・特例退職者向け健診）の実施率が大きく下回り、全体の実施率を下げています。



実施率が低いと、ペナルティとして後期高齢者支援金が加算されることがあります。特定健診・特定保健指導は、積極的に受けて生活の見直しを！

特定保健指導の実施状況

全体で平均を上回っているものの、被扶養者の低さが目立ちます。健康状況の改善のためにも、必ず受けてください。



スコアリングレポートは、「すこやかサポートPlus」に掲載しています。ログイン後、各種情報「データヘルス」から参照ください。
<https://ibm-ssp.sukoyaka-support21.com/psn/>

： 特定健診・特定保健指導について、こんなことも知っておいてください。 ：

● 実施率が健保が支払う「支援金」に影響し、健保の財政を圧迫する可能性があります

健康保険組合では、高齢者の医療制度を支えるために「支援金」を支払っていますが、この金額が健康保険組合の取り組みによって、加算されたり、減算されたりします。

その際、大きなウェイトを占めるのが、「特定健診・特定保健指導の実施率」です。

● 全医療保険の実施率が公表されます

特定健診・特定保健指導は、法律によって医療保険者に実施が義務付けられているものです。その責任を明確にするために、平成29年度実施分から、実施率が公表されることになりました。